



社団法人 日本助産師会

宮城県支部だより

第18号

平成20年3月吉日発行

発行 社団法人日本助産師会宮城県支部

〒981-0911

宮城県仙台市青葉区台原 5-12-14

目次

- | | | |
|-----------------|-------|--------------------|
| 1. 支部長あいさつ | 新田みつ子 | 4. 平成20年宮城県支部総会の案内 |
| 2. 平成19年度理事会報告 | | 5. 編集後記 |
| 3. こんにちは！ 助産院さん | 本田由美氏 | 新会員 本部名簿登録料について |
| 4. 私の絵画 | 小山みね子 | 支部総会委任状在中 |

1. 支部長あいさつ

新田 みつ子

早春の候、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り致しております。

医療法第19条及び医療法施行規則第5条の2第1項及び第3項に基づき、「助産所における嘱託医師については産科または産婦人科を担当する医師を嘱託医とする」とされ、平成19年4月より従来通りの経過措置がとられていました。平成20年4月からは嘱託医が義務付けられ、締結できなければ助産所は廃業せざるをえませんでした。このことを踏まえ多くの方々のご尽力により、宮城県支部会員中3助産院との嘱託医契約の締結が行われました。

助産師が安心・安全な医療を提供する上で医師との連携は必須条件です。連携がスムーズで信頼関係が良好であれば、将来を担う子どもたちのために安心して子どもを産み育てることが出来るでしょう。

助産師一人ひとりがお母さんから信頼され続ける存在であることを再認識し、「ここに助産師あり」と、常に発信し続けていきたいと思います。



H19北海道・東北ブロック研修会にて 新田前支部長と共に

2. 平成19年度理事会報告

(1) 理事会報告

《司会 勤務部長 松田美由紀》

社団法人日本助産師会宮城県支部平成19年度理事会&新年会が、平成20年1月1日(日) 11:30から、仙台駅東口ガーデンパレスにて開催されました。

- 次第
- ・ 支部長挨拶
 - ・ 平成19年度中間事業報告
 - ・ 平成20年度役員会体制案
質疑応答し、承認を頂く
以後意見交換会とする。



(2) 新年会参加者の声

- ・ 「奥会津に生きたしえんしえい産婆」
当会会員とも縁故あり。拝読下さい
別資料あり。
- ・ 産褥入院に、嘱託医は？
- ・ 石巻からです。まめに顔を出したいと思います。
- ・ 助産師学校は、まだまだ実習が続きます。お産を扱う病院が少なくなり、就職も難しくなりました。
- ・ 全力をあげて、助産師会に協力します。
- ・ 皆様には胎盤事業等協力を頂き、感謝しております。
- ・ 今年入会しました。
- ・ 看護協会と平行して、役員をしています。活動の趣旨は同じです。頑張りましょう。
- ・ ろうそく1本でお産をやってきました。産婆さんは、過去皆に胸を張っていました。若い人に頑張ってもらいたくて来ました。

新入会員の名簿登録料について

例年のように、会費は2月23日前後に引き落としになりました。引き落としの手続き末の方は、郵便振替用紙をお届けします。よろしくお願い致します。

.....記.....

会費 本部会費 10,000円
支部会費 5,000円 (平成19年度支部総会にて、承認されています)
合計 と の合計額 15,000円となります。

なお、新入会員さんは初年度のみ、本部名簿登録料として、10,000円頂くことになりました。よって、新入会の場合、初年度のみ、合計25,000円となります。ご周知下さい。

入会・退会等の届けは書記までご連絡下さい

田村雪子 090-2982-7235 FAX022-257-7610



3. こんにちは！ 助産院さん

石巻 ほんだ母乳育児相談室
本田 由美

私は、母乳育児相談室を開設して、10年目になりました。ちゅーびこの節目の年に、この原稿のお話をいただいたので、原案をふり返ってみました。
私が乳房マッサージの勉強をすることが出来たのは、『渾身マツコチ』コンサルタントを開設している澤田先生のおかげです。研修初日のことは、忘れられません。
さまでまは月齢の赤ちゃんも、真剣に母乳育児に取り組んでいるお母さん達を前に、私は助産師なのに、全く、おっぱいのことがわかっていないという事実を、つまづけられました。痛復に、10年勤めました。私が（知っているというより）見たことのあるのは、せいせい産後2週間の乳房でした。60月の乳房、1年の乳房、色々な産後、断乳、卒乳、何もわかりません。誰かの知からの出張でした。
赤ちゃんや お母さんが、いろいろな事を、たくさん教えてくれました。澤田先生は、そんな私を、根気強く、あとがき 見守ってくださいました。
赤ちゃんは 本当に正直で、おいしい母乳は、たくさん飲んで、奇癖も いいのです。すると、成長や発育も良く、お母さんち、ニコニコで育児に取り組めます。



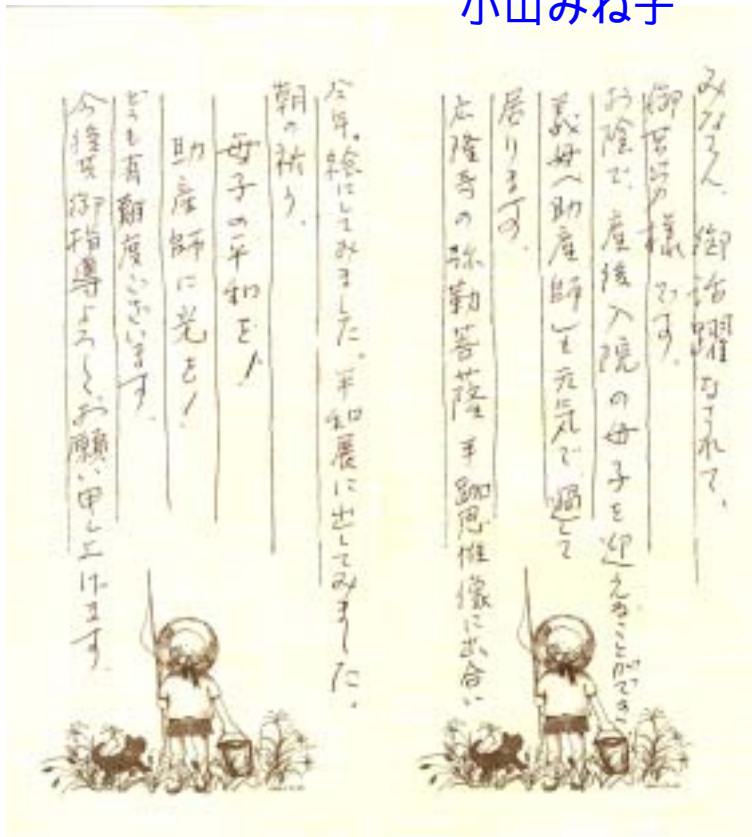
自己紹介します!!
本田 由美
54.2.21生
石巻赤十字病院に
10年勤務。
平成10年に開業。
夫と息子(中1)4人
(小5)と4人暮らし
アラスカ1回。
今頃パソコンの至
強、はじめはITは
たから、手書きです...

「母乳の味!？」、病院勤務の頃の私には、信じられなかったこの事実と、今は毎日、向き合っています。乳房マッサージの技術は、大義奥が深く、知れば知る程、自分の未熟さが痛感されます。しかし、10年目の今、私は改めて乳房マッサージや乳房の知識を学びチャンスが得られた幸運と、それを仕事とすることが出来る幸せを分かっています。また、「みやま開業助産師ネットワーク」という、力強いつながりに感謝しました。昨年11月3日に「いいお昼の日」イベントを、東北電力グリーンアラゲで開催することが出来て、また、定例会も重ね、楽しみなから親睦を深めています。
これからも、感謝の気持ちで、日々のお仕事をさせていただきます。どうぞ、よろしくおねがいします。

〒981-0504 東松島市小松字若葉9-1 (ほんだ母乳育児相談室)
TEL) 0225-83-3597 FAX) 0225-83-6442

4. 私の絵画

小山みね子



編集後記

この頃、心配していることがあります。

「ひとりでは、仙台に行かれなくなりました」「腰が痛くて、病院に通っています」「足が痛くて、毎日電気をかけています」「血液透析を週3回受けています」

また、ご家族に気兼ねで、ご連絡も出来ずにいらっしゃる先輩もいらっしゃいます。ご主人のご訃報のご連絡も多くなりました。この方々は、産婆世代の助産師の先輩方です。

なんとご返答したらよろしいものやら、『順番っですから。私の天然ボケも迫力を増してきました』とお答えしております。もうすぐ桜のシーズンです。ポカポカ陽気の春が参ります。痛い腰も足もほぐれてきます。ご無理せずに、心身を労わって下さいませ。そして、総会、研修会にはお顔を見せて頂くだけでよろしいですから、いらして下さい。まだまだ私どもに、知識と技をご教示頂きたい、この場を借りてお願いしたいと思います。

また、地域の方々には、おひとりで暮らしていらっしゃる先輩方の所には特に、用事を作って訪問して頂きたいと思っております。

それでは、平成20年度日本助産師会支部総会で、お目にかかることを楽しみに致しております。

支部書記長 機関紙担当

田村雪子

発行 社団法人日本助産師会宮城県支部

〒981-0911 仙台市青葉区台原 5-12-14

支部長 新田 みつ子

電話 FAX 022-272-6578

支部便り担当 田村雪子 松田美由紀

問い合わせや投稿は、090-2982-7235 田村雪子までお願いします。